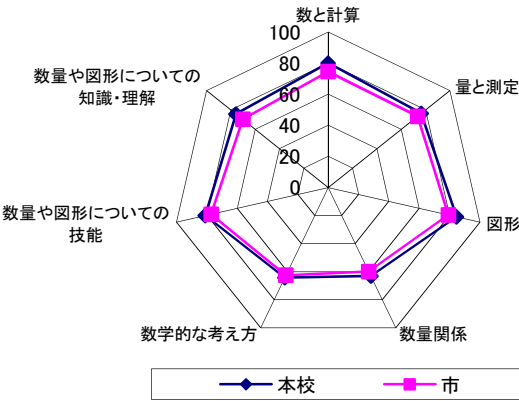


宇都宮市立宝木小学校 第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	79.9	74.5
	量と測定	76.4	73.5
	図形	84.5	79.2
	数量関係	63.2	59.9
観点別	数学的な考え方	64.2	62.5
	数量や図形についての技能	81.0	77.1
	数量や図形についての知識・理解	75.8	70.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・平均正答率は、市の平均よりも5ポイント高い。 真分数のたし算では、市の平均を0.5ポイント下回っていた。	かけ算とわり算については、やり方は理解しているが、途中の計算でのくり上がりやくり下がりで間違ったと思われる。くり返し計算問題を復習させたい。
量と測定	・平均正答率は、市の平均よりも約3ポイント高い。 身近にあるものの面積を推察する問題では、市の平均を0.5ポイント下回っていた。	面積では、長方形や正方形の面積を求めることはできているが、複合図形になると解けないということがあり、問題を一つひとついねいに取り上げて、じっくり考えながら取り組ませていきたい。
図形	・平均正答率は、市の平均よりも約5ポイント高い。 二等辺三角形の作図では、市の平均を0.5ポイント下回っていた。	円や球については理解はしているが、それを使って「球が3つ並んだ時の箱の長さは何cmですか」といった問題になってしまうと正解率が低いため、文章題の応用問題でもしっかり考えることができるよう同様の課題に取り組ませていく。
数量関係	・平均正答率は、市の平均よりも約3ポイント高い。 全ての問題で、市の平均を上回ることができた。	折れ線グラフの読み方は分かっているが、1メモリの違いを見落としてしまっている場合もあった。確実に読み取ること、再度確認することを指導する。変わり方では、表の中から何について問われているかを考えるのが苦手な児童が多いので、練習問題を解かせることで復習させる。